

感染者が出たら、  
日常生活でもいつも以上に注意が必要です。

## お風呂

ほんの少しの便も感染原因になります。入浴前は、十分体を洗いましょう。下痢や嘔吐など症状があるときは、入浴を控えたり、最後に入浴するなどの配慮も必要です。



## 洗濯

おうとぶつ  
嘔吐物や排せつ物がついたリネンやシーツなどは、汚物を流水でしっかり洗い流した後、消毒または加熱殺菌してください。その後、ほかの洗濯物とわけて、最後に洗濯するようにしましょう。



## 掃除

通常はふき掃除でも十分ですが、感染者が出たときは定期的に消毒する必要があります。多くの人がかかる蛇口やドアノブ、手すりなどは、0.02%の次亜塩素酸ナトリウムで消毒し、10分後に水ぶきしてください。次亜塩素酸ナトリウム消毒できないものについては、消毒個所が85度になるように、お湯やスチームアイロンの蒸気などを使って殺菌しましょう。



## オムツ交換

オムツの交換時は、使い捨て手袋を着用しましょう。二次感染防止のためにも、1回ごとの交換が望まれます。使用後のオムツについては、0.1%の次亜塩素酸ナトリウムを予め入れたビニール袋に密閉し、ノロウイルスを完全に失活させてから処理してください。

